

愛知県がんセンターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

| | |
|-------------|---|
| 1. 研究責任者 | 小森康司 |
| 2. 研究課題名 | 消化管ストーマ早期合併症の重症度分類確立を目指した多施設共同研究 |
| 3. 研究の概要 | 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会のプロジェクト企画委員会と連携して、ストーマ合併症重症度分類案を作成し、Retrospectiveに、妥当性を評価・検証し、全国共通のストーマ合併症の重症度分類を確立することを目的として、多施設共同研究を計画した。 研究期間：平成28年7月から平成28年12月31日 (遺伝子解析：①行う②行わない) |
| 4. 使用する診療情報 | 診療情報内容(1) 手術因子ストーマの形状(単孔式、ループ式、二連銃式)、ストーマの部位(S状結腸、横行結腸、回腸など)、術前のストーマサイトマーキングの有無、腹腔内経路か後腹膜経路か、腹直筋を貫くか腹直筋外か 2) 背景因子 ストーマ造設から合併症発症までの期間(ストーマ造設日、ストーマ合併症発症日を記入していただき、そこから算出)、手術時の年齢、性別、身長、体重、疾患名(大腸癌、その他の悪性腫瘍による消化管閉塞、潰瘍性大腸炎、クローン病、その他) 3) 局所因子 ストーマ造設直後と合併症発症時のストーマ縦径、横径、高さ 4) 治療経過 治療内容(再手術、保存的治療)、治療の転帰(改善、不変)、その他の術後合併症、術後入院期間 対象収集期間 平成26年1月1日～平成26年12月31日 |
| 5. 使用する検体 | 検体名() 検体採取時期 平成 年 月 日～平成 年 月 日 |
| 6. 病名 | 人工肛門形成状態 |

① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会、遺伝子解析研究倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。

個人情報のお安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。

また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。

② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ☆

愛知県がんセンター管理課 会計グループ
倫理審査委員会事務局

住所：〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

FAX：(052-764-2963)

e-mail: irb@aichi-cc.jp

(お問い合わせは、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)